

## SeaBOSの取組み



# 持続可能な水産物の提供と健全な海洋環境の実現に向けて

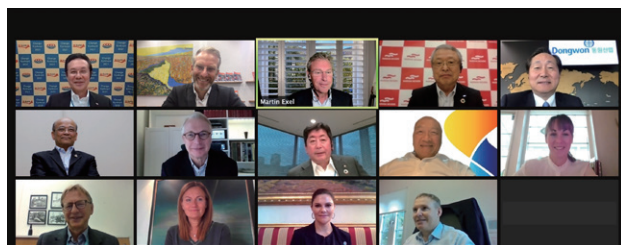
SeaBOS (Seafood Business for Ocean Stewardship)は、世界水産大手企業10社と、海洋・漁業・持続可能性を研究する科学者が、持続可能な水産物の生産と健全な海洋環境を確保するために、科学的根拠にもとづく戦略と活動を協力しながら主導することを目的に設立されたグローバルなイニシアティブです。国連の持続可能な開発目標(SDGs)、特に「目標14 海の豊かさを守ろう」に積極的に貢献しています。

SeaBOSの主要な課題とミッション	
<b>Vision</b>	海洋管理に関する変革を促進する
<b>How</b>	政府やその他のサステナビリティの主導者との協力を含め、業界が海洋に対する世界的な責任を負い、海洋管理に積極的に携わる
<b>Mission</b>	持続可能な水産物の生産と健全な海洋環境の実現に向けて世界をリードする

SeaBOS 参画企業
マルハニチロ
日本水産
Thai Union Group
MOWI
Dongwon Industries
Nutreco/Skretting
Cargill Aqua Nutrition
Cermaq
極洋
Charoen Pokphand Foods

## 第5回SeaBOS会議(オンライン)への参加

2020年10月、第5回SeaBOS会議が開催され、当社社長の池見が出席しました。2日間にわたるオンライン会議では、各タスクフォースの課題、進捗状況、今後の取組みについて、積極的な討議が行われ、2021年末までの目標と計画について合意がなされました。また、SeaBOS初代会長を務めた当社代表取締役会長伊藤滋は、2年の会長任期満了で退任となり、SkrettingのTherese Log Bergjord氏が新会長に就任しました。



第5回キーストーンダイアログ会議(オンライン)の様子

SeaBOSの取組み	主な合意内容
IUU漁業、強制労働・児童労働排除	自社操業において、IUU漁業と強制労働・児童労働を排除し、調達品に関してもサプライチェーン上におけるこれらの問題に対処し、2022年と2025年に進捗を報告する
絶滅危惧種への対応	絶滅危惧種への影響を減らすための戦略に合意する
抗生物質使用削減	抗生物質の使用を減らすための戦略に合意する
海洋プラスチック問題への対応	Global Ghost Gear Initiativeとの協働を深め、漁具の紛失や遺棄の問題へ対処する 海岸や河川のクリーンアップ活動を実施する
気候変動への対応	各社のCO <sub>2</sub> 排出削減目標と報告方法を設定する

## SeaBOSタスクフォース



※マルハニチロ(株)は、このうちタスクフォースI、IIIおよびVIのメンバーとして活動しています。

## VOICE

Therese Log Bergjord新会長に、SeaBOSの目標、会長としての果たすべき役割とマルハニチロへ期待することについてお聞きしました。



Therese Log Bergjord 氏  
Skretting  
CEO

- 1. SeaBOSの目標は何ですか。**  
第1の目標は、持続可能な水産物の生産と健全な海洋環境の確保に向けた世界的変革です。そのために世界の水産大手企業10社とストックホルム・レジリエンス・センターの科学者たちが協力し、2016年に定めた一連の公約を期限どおりに達成できるよう取り組んでいます。
- 2. SeaBOS会長として目標としていることは何ですか。**  
SeaBOSの活動を監督し、加盟企業と科学者が目標達成に集中できるようにすることです。持続可能な水産物の生産と健全な海洋環境の未来に向けてリーダーシップと戦略的ビジョンを提供したいと思っています。
- 3. SeaBOS会長としてマルハニチロにどのようなことを期待していますか。**  
SeaBOSは前会長であるマルハニチロの伊藤会長のもとで大きく発展しました。現社長の池見氏のリーダーシップを通して、2021年10月までの目標の達成に向けて、さらにそれ以降も、この発展をけん引していただきたいと思っています。マルハニチロは大企業であり、水産物業界における影響力も大きいので、今後もこの重要なイニシアティブのメンバーとして世界の水産物の持続可能性のために課題と解決策を見出し、それらをSeaBOSの会員企業と共有していただけるものと期待しています。